

防災・減災に向けた 産総研の地震・津波・ 火山研究

— 東日本大震災から10年の成果と今後 —

2021年
11月12日 金



参加費無料 / 事前登録制

オンライン開催 10:00 ~ 15:35 【配信開始 9:30】

参加登録、講演詳細：<https://www.gsj.jp/researches/gsj-symposium/sympo34/index.html>



10:00-10:05	開会挨拶	中尾信典 (地質調査総合センター長)
10:05-10:15	趣旨説明	伊藤順一 (活断層・火山研究部門長)
10:15-10:45	活断層の古地震調査の進展と活断層データベースの高精度化	吾妻 崇 (活断層・火山研究部門)
10:45-11:05	長大活断層の連動性評価の研究—活断層調査と断層変位計算—	近藤久雄 (活断層・火山研究部門)
11:05-11:25	長大活断層の連動性評価の研究—地殻応力場と数値シミュレーション—	加瀬祐子 (活断層・火山研究部門)
11:25-11:45	地形・地質・史料に基づく海溝型巨大地震の評価	穴倉正展 (活断層・火山研究部門)
11:45-12:05	南海トラフ地震の短期予測研究の現状と産総研の役割	松本則夫 (活断層・火山研究部門)
12:05-13:00	休憩	
13:00-13:20	ポスターショートトーク	
13:20-13:50	火山地質図の整備と国土強靱化のための新たな取り組み	古川竜太 (活断層・火山研究部門)
13:50-14:20	大規模噴火はどのようにはじまり進行するか:地質学的事例研究から見る噴火推移パターンの多様性	下司信夫 (活断層・火山研究部門)
14:20-14:30	休憩	
14:30-15:00	地震・火山防災対策におけるGSJへの期待	加藤孝志 (気象庁地震火山部 管理課長)
15:00-15:30	桜島の火山防災対策と大量軽石火山灰対応に必要な研究・対策	児玉博史 (鹿児島市危機管理課 課長)
15:30-15:35	閉会挨拶	光畑裕司 (地質調査総合センター研究戦略部長)

お問い合わせ

地質調査総合センター 第34回GSJシンポジウム事務局
〒305-8567 つくば市東 1-1-1 中央第7 ☒ M-gsj-symposium34-ml@aist.go.jp

主催：産業技術総合研究所 地質調査総合センター
CPD：4単位 (ジオ・スクーリングネット)